

# 「有明海・八代海を科学する」

日本最大級の干潟をもつ有明海・八代海は世界的にも特異で貴重な海域です。豊富な水産資源をもつ同海域も、近年、早急に解決しなければならない多くの問題が発生しています。熊本大学沿岸域環境科学教育研究センターと熊本県水産研究センターでもこの問題に取り組んでおり、その成果を市民講座として紹介してきました。今年も、その後の研究成果をもとに内容の充実をはかり、下記のとおり市民講座を開催することとなりました。6回の講義では、沿岸域の生物・環境に関する最新の科学的研究成果をわかりやすく解説し、干潟沿岸域の環境の保全創造について皆さまと共に考えたいと思います。多数のみなさまのお申し込みをお待ちしております。

対象

一般市民(100名)

日時

下記の期日の

午後6時30分～8時00分

参加費

無料

場所

くまもと県民交流館 パレア

熊本市中央区手取本町8番9号 テトリアくまもとビル  
9階 第1会議室(10月9日、16日は第7会議室)講義：第1回  
9月25日(水)

- ・ 開催にあたって 逸見 泰久(熊本大学 沿岸域環境科学教育研究センター長)
- ・ 「海洋生物の長期モニタリングの重要性」  
逸見 泰久(熊本大学 同センター教授)

講義：第2回  
10月2日(水)

- ・ 「八代海の環境変動と底生生物の反応」  
嶋永 元裕(熊本大学 同センター准教授)

講義：第3回  
10月9日(水)

- ・ 「水産研究センターでの貝類増養殖研究の現状と展望」  
鮫島 守(熊本県水産研究センター養殖研究部 兼 食品科学研究部長)

講義：第4回  
10月16日(水)

- ・ 「有明海・八代海再生へのシナリオ」  
滝川 清(熊本大学 同センター教授)

講義：第5回  
10月23日(水)

- ・ 「海苔ゲノムの解読によって分かったこと」  
瀧尾 進(熊本大学 同センター教授)

講義：第6回  
10月30日(水)

- ・ 「最新の音響装置とロボットを用いた宮城県東部(気仙沼湾)の瓦礫調査」  
秋元 和實(熊本大学 同センター准教授)

実習  
(定員25名)

10月18日(金)

- ・ バスによる熊本県水産研究センター見学と干潟での実習

\*天候により内容を変更する場合があります。

## 申し込み方法

電話、ファックス、電子メールのいずれかにて右記にお申し込み下さい。  
ファックス・電子メールの場合、〒住所・氏名・年齢・電話番号・受講希望日・  
実習参加の有無をご記入下さい。

講義及び  
実習の申込9月19日(木)までに、  
先着順で定員100名で受け付けます。

## お問い合わせ先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1  
国立大学法人熊本大学 自然科学系事務ユニット  
研究センター支援担当(中島・鞍本)  
TEL. 096-342-3143(直通)  
FAX. 096-342-3010  
E-mail: szk-center@jimu.kumamoto-u.ac.jp